

# 第1編 令和8年度予算の全体像

## I 基本方針

令和8年度は「えべつ未来づくりビジョン」（第7次江別市総合計画）の3年次目となります。

「えべつ未来づくりビジョン」に掲げた「将来都市像」と「5つのまちづくりの基本理念」の考え方を踏まえたまちづくりを進めます。



この基本理念に基づいた「まちづくり政策」を進めるため、「えべつ未来戦略」を政策の中枢に据えて重点的・集中的に取り組めます。

また、人口減少と地域経済縮小の克服のため、「江別市総合戦略」を効果的に進めていきます。

健康都市推進事業

1,961千円

全ての市民が生涯を通じて健康に過ごせるように、「健康都市宣言」に基づき、健康意識向上のための取組を推進します。

- ◆ えべつ健康フェスタの実施
- ◆ 野菜摂取レベル測定器を活用した啓発の実施
- ◆ 健康都市連合日本支部への加入



健康フェスタ



野菜摂取レベル測定器



成人検診推進事業

91,004千円

がん等の早期発見、早期治療のため、がん検診等の受診勧奨及び受診しやすい環境づくりを行います。

- ◆ 集団検診事務の一括委託(受付業務、受診勧奨、Web予約運用)
- ◆ がん検診等の実施



集団検診バス

健康づくり推進事業

7,171千円

えべつ市民健康づくりプラン21(第3次)に基づき、生活習慣病の予防や、こころの健康づくり等の取組を行い、地域の健康づくり活動を推進します。

- ◆ 健康づくり推進員の活動支援
- ◆ 食生活改善推進事業
- ◆ 生活習慣病予防教室(中学生)
- ◆ 自殺予防のための普及啓発・人材育成
- ◆ 地域での健康教育・健康相談



健康づくり推進員による活動

高齢者予防接種経費

160,032千円

感染症罹患に伴う重症化を防ぐため、高齢者等に対するワクチン接種を実施します。

- ◆ 各種予防接種の実施(インフルエンザ、新型コロナ、肺炎球菌、带状疱疹)



【国民健康保険特別会計】  
特定健康診査等事業

76,848千円

国民健康保険被保険者に対する特定健康診査や特定保健指導を実施します。また、特定健康診査受診率や特定保健指導利用率向上のための取組を推進します。

- ◆ 北海道国保連合会の共同事業を活用した受診勧奨ハガキの送付
- ◆ 保健師による低受診率地区への訪問・電話勧奨

【介護保険特別会計】  
一般介護予防事業

7,066千円

社会に参加しつつ、地域で自立した日常生活を営めるように、介護予防の普及啓発に取り組みます。

- ◆ フレイル(虚弱状態)予防対策の普及啓発
- ◆ 住民主体の「通いの場」支援
- ◆ 介護予防教室、出前講話等の実施
- ◆ リハビリテーション職による地域活動支援



高齢者保健・介護予防  
一体的実施推進事業

9,756千円

高齢者の健康課題を把握し、個別支援と通いの場等を活用した健康教育を通し、保健事業と介護予防を一体的に実施することで健康寿命の延伸を図ります。

- ◆ 専門職派遣による健康教育・健康相談
- ◆ フレイルチェックの実施
- ◆ 個別支援による重症化予防



障がい者しごと相談室「すてら」

障がい者就労相談支援事業

18,227千円

相談支援員が障がい者の就労・自立を支援し、定着支援員がその継続をサポートします。

- ◆ 障がい者とその家族に対する就労相談と就労継続支援の実施
- ◆ 障がい者雇用を希望・実施する企業の支援
- ◆ **拡大** 障がい者しごと相談室「すてら」の定着支援機能強化

新規

包括的支援体制整備事業

(総合的な全世代支援)

3,410千円

関係機関や地域住民と連携・協働し、多様な困りごとを抱える方を支援するため、全市的な支援体制を整備します。

- ◆ 地域課題の分析や支援体制構築のためのアドバイザー業務委託
- ◆ 関係機関による情報共有のための連携システム導入



介護人材確保定着支援事業

4,930千円

介護人材の確保や市内定住促進のため、市内の介護事業所へ、支援を実施します。

- ◆ 雇用奨励金の交付
- ◆ ICT化支援のための補助



生活困窮者自立支援事業

49,069千円

生活困窮者支援を通じて、地域福祉の充実を図ります。

- ◆ 自立相談支援事業
- ◆ 家計改善支援事業
- ◆ 就労準備支援事業
- ◆ **新規** 就職氷河期世代等支援事業
- ◆ ひきこもり支援推進事業
- ◆ 居住支援事業



新規 救急安心センターさっぽろ事業

4,557千円

道央医療圏救急医療情報システム「救急安心センターさっぽろ（#7119）」へ参加し、いつでも救急医療相談ができる体制を確保します。

- ◆ 令和8年10月運用開始



その他主要事業（政策3）

■社会福祉協議会補助金	110,579千円
■年末見舞金支給事業	18,817千円
■夜間急病センター運営経費	164,551千円
■障がい者自立支援給付費	4,803,800千円
■障がい者自立支援給付費（児童）	1,573,420千円
■自立支援医療給付費	154,340千円
■重度心身障がい者医療費助成事業	203,979千円

■救急医療対策事業（内科系二次救急）	11,416千円
■後期高齢者健診推進事業	30,750千円
■生活保護費	2,734,000千円
■国民健康保険会計繰出金	1,129,619千円
■後期高齢者医療会計繰出金	639,725千円
■介護保険会計繰出金	1,766,484千円
■病院事業会計繰出金	1,698,297千円

子ども医療費助成事業

330,441千円

子どもの医療費一部助成により保護者の負担軽減を図ります。

- ◆ 中学生以下の通院・入院医療費助成

保育人材等確保対策事業

32,784千円

保育の質の維持・向上に向け、保育従事者の養成や教育・保育施設等に対する保育士等の人材確保のための助成を行います。

- ◆ 保育従事者の養成
- ◆ 保育士等奨学金返還支援事業
- ◆ 保育士等アパート借上支援事業
- ◆ **新規** 就労奨励金事業
- ◆ **新規** 学生アルバイト雇用支援事業
- ◆ **新規** 保育公開実施



地域子育て支援拠点事業

(子育てひろば『ぼこあぼこ』) 38,410千円

子育てひろば『ぼこあぼこ』を運営します。季節や天候を問わない全天候型で、大型複合遊具などを備え、子どもが自由に遊べる空間を提供します。

- ◆ 子育てひろば『ぼこあぼこ』の運営
- ◆ 子育て講習会等の開催
- ◆ 子育て支援コーディネーターによる子育て相談
- ◆ 託児ルームの併設



ぼこあぼこ

子どもの居場所づくり

支援事業 5,774千円

子ども食堂等子どもの居場所の安定的な運営を通じて、地域全体で子どもたちを見守る環境の充実を図ります。

- ◆ **拡大** 子ども食堂等を運営する団体への補助金額を増額
- ◆ **拡大** 子どもの居場所づくりの推進に取り組むコーディネーターの配置



**新規**

児童発達支援センター

機能強化事業 7,702千円

民間が運営する児童発達支援センターに機能強化員を配置し、地域の療育体制の充実や、支援の質の向上など、障がいのある子どもと家族が安心して暮らすことができる地域づくりに取り組みます。

- ◆ 早期の発達相談・子育て相談の実施
- ◆ 障がい児通所支援事業所等への専門的支援
- ◆ 研修会の実施



保育料の独自削減

「江別市子ども・子育て支援事業計画」に基づき、子育て家庭への経済的負担を考慮し、引き続き0～2歳児の保育料の軽減を図ります。

- ◆ 市の独自削減率25.82%



教育・保育施設等

給付事業 4,503,587千円

民間が運営する教育・保育施設や子ども子育て支援施設において、乳児から就学前までの子どもの教育・保育、子育て支援を実施します。

- ◆ 教育・保育施設の利用に対する給付費の支給
- ◆ 子ども子育て支援施設の利用に対する給付費の支給
- ◆ **新規** こども誰でも通園制度の利用に対する給付費の支給

病児・病後児保育事業

39,424千円

子どもが病気の際に、保護者が仕事を休めない場合にも、安心して子どもを預けることのできる病児・病後児保育を実施します。

- ◆ 病児・病後児保育実施施設への補助
- ◆ **拡大** 国の実施要綱に基づく送迎対応の実施(1施設)

小中一貫教育推進事業

2,508千円

全小中学校で目指す子ども像を実現するため、義務教育9年間での系統性と連続性のある指導を推進していきます。

- ◆ 小中のつながりを意識した授業
- ◆ 小中で基本的な指導方法の共通化
- ◆ 中学校教諭による小学校での授業
- ◆ 小学生の中学校体験登校、部活動体験

小中学校学習サポート事業

11,325千円

退職教員などの人材資源を活用し、複数の教員が指導するチームティーチングや、補充的学習を実施することで、子どもたちの学力向上に取り組みます。

- ◆ 複数教員による指導
- ◆ 夏季・冬季休業中の補充的学習
- ◆ 放課後の補充的学習
- ◆ 学習サポート教員、地域ボランティアの派遣

小中学校ICT環境

整備事業 502,686千円

小中学校におけるICT環境の整備を推進し、学習環境の充実を図ります。

- ◆ 学習者用タブレット端末の更新
- ◆ GIGAスクールサポーターの配置
- ◆ 校務支援システム運用経費
- ◆ ICT機器等の運用保守
- ◆ 校内アクセスポイントの更新



中学校部活動サポート事業

7,136千円

生徒がスポーツ・文化芸術活動に継続して親しむことができる機会を確保するため、学校や関係団体と連携し、部活動の地域展開を推進します。

- ◆ **拡大** 部活動の地域展開に関する推進会議の開催
- ◆ **拡大** 部活動指導員の増員・活動時間数の増
- ◆ **拡大** 部活動地域展開アドバイザーの配置

新規

学校給食負担軽減

支援事業 327,356千円

江別市学校給食会へ小学生の給食原材料費を補助することで、保護者負担の軽減を図ります。

- ◆ 江別市学校給食会へ給食原材料費の一部を補助



学校給食メニュー例



新規 学校プール安全対策推進事業

5,444千円

水泳授業の安全性向上やプール管理における教職員負担軽減のため、モデル校で外部指導員派遣や水質管理委託を試行します。

- ◆ 外部指導員の派遣
- ◆ 清掃・水質管理の委託
- ◆ 市営プールの活用
- ◆ 近隣校とプールを共用



小中学校外国語教育支援事業

41,806千円

低学年から英語に慣れ、コミュニケーション能力の素地を養うため、英語を母国語とする外国語指導助手（ALT）が、小学校で外国語教育を行います。

また、小学校と中学校の英語の授業時に、ALTを派遣し、チームティーチングを行います。

- ◆ ALTの配置（10名）



ALTによる授業

スクールソーシャル

ワーカー事業 13,487千円

いじめ・不登校・家庭環境などの問題や悩みを抱える児童生徒やその保護者に対し、スクールソーシャルワーカーが福祉分野の専門的な知識や経験を生かして支援を行います。

- ◆ 悩みを抱える児童生徒に対する支援
- ◆ 学校・家庭・福祉・その他関係機関との連携調整

いじめ防止対策事業

3,416千円

心のダイレクトメールやWeb-QUなどの取組を通じて、いじめの早期発見・早期対応を図ります。

- ◆ 学校におけるいじめ調査の体制整備
- ◆ 心のダイレクトメールの実施
- ◆ いじめ根絶をテーマにした中学生サミットの開催

不登校児童生徒支援事業

27,442千円

児童生徒の不登校の未然防止を図るとともに、不登校やその傾向にある児童生徒の教育の機会及び居場所の確保を図ります。

- ◆ 教育支援センター「ねくすと」の運営
- ◆ 専任指導員などによる教育相談
- ◆ **拡大** 中学校への登校サポーター派遣を週5回に拡大



教育支援センター「ねくすと」

放課後児童クラブ

運営費補助金 354,958千円

民間放課後児童クラブに対し、運営に係る費用の一部を助成し、放課後児童健全育成の充実を図ります。

- ◆ 民間放課後児童クラブへの運営費補助
- ◆ 新設民間放課後児童クラブへの施設整備等補助
- ◆ **拡大** 臨時休校時開設への運営費補助

放課後児童クラブ運営事業

24,398千円

公設放課後児童クラブの運営を民間事業者に委託し、安心安全な放課後の「生活の場」を提供します。

- ◆ 江別第一小学校放課後児童クラブの運営委託



児童館地域交流推進事業

90,788千円

市内7か所の児童センターにおいて、地域との交流を通して、遊び・行事・イベントなどの活動を実施します。

また、併設された1か所の公設放課後児童クラブを運営します。

- ◆ 児童センター（7館）の運営
- ◆ 放課後児童クラブ（1クラブ）の運営

放課後児童クラブ

施設整備事業 102,075千円

今後待機児童の発生が見込まれる小学校区の管理住宅等を改修し、児童が放課後を安心安全に過ごすことができる環境を整備します。

- ◆ 大麻小学校区
- ◆ 大麻東小学校区



その他主要事業（政策6）

■ 保育園運営経費	212,869千円
■ 延長保育事業	41,040千円
■ 民間社会福祉施設整備費補助事業	22,913千円
■ 一時預かり事業	148,312千円
■ 児童手当	2,108,785千円
■ 児童扶養手当	425,443千円
■ 子ども発達支援推進事業	35,416千円
■ ひとり親家庭等医療費助成事業	38,773千円

■ 妊産婦健康診査経費	52,127千円
■ 乳幼児健康診査推進事業	24,765千円
■ 予防接種経費	215,489千円
■ 子育てサービス利用者支援事業	12,951千円
■ 特別支援教育推進事業	59,799千円
■ 特別支援学級生活介助事業	101,133千円
■ キャリア教育推進事業	1,298千円
■ 学校給食事業	412,106千円

# 特別会計

27,091,000千円 (前年比+547,000千円、+2.1%)

## 国民健康保険特別会計

11,765,000千円

国民健康保険の被保険者に対して、疾病、負傷、出産又は死亡に関する保険給付や健康の保持増進に向けた事業を実施します。

- ◆ 北海道国民健康保険運営方針に基づき、北海道と一体となって国民健康保険の適正な運営に努めます。
- ◆ 資格管理や保険給付を適切に実施するとともに、医療費の適正化に取り組みます。
- ◆ 特定健診の受診促進や保健事業を推進します。
- ◆ データヘルス計画の中間評価を行います。

## 後期高齢者医療特別会計

2,590,000千円

主に75歳以上の方が加入する後期高齢者医療制度について、資格確認書の交付や保険料の管理、各種申請受付等の事務を行います。

- ◆ 被保険者から収納した保険料を、北海道後期高齢者医療広域連合へ納付します。
- ◆ 所得が少ない方の保険料軽減のため、一般会計から繰り入れを受けます。

## 介護保険特別会計

11,948,000千円

高齢者等が住み慣れた地域で安心して暮らしていけるよう、介護保険事業の円滑な運営を図ります。

- ◆ 第9期介護保険事業計画（令和6年度からの3か年計画）を推進します。
- ◆ 介護予防の取組や地域包括支援センターの運営のほか、認知症施策などの地域支援事業を実施します。
- ◆ 第10期介護保険事業計画を策定します。（令和9年度～令和11年度の3か年計画）

## 基本財産基金運用特別会計

788,000千円

江別市有林処分金をもとにした市の財政に寄与するための基本財産基金について、その運用の経理を明確にするための会計です。

- ◆ 基金で保有している土地の管理経費
- ◆ 市の投資事業等に対する債権運用
- ◆ 土地・現金の運用益の基金への繰出金

# 公営企業会計

22,276,896千円 (前年比+3,509,381千円、+18.7%)

## 水道事業会計

3,741,568千円

- ◆ 水道事業では、安全で安心して使える水道水を安定的に供給するため、水道施設の適切な更新や維持管理、災害対策を推進し、老朽配水管の布設替による耐震化等管網整備を行うほか、配水池の耐震化等を実施します。

## 下水道事業会計

5,750,515千円

- ◆ 下水道事業では、衛生的な生活環境を確保するため、老朽化した下水道管路の改築・更新を行うほか、浄化センター・ポンプ場の設備更新等を実施します。

## 病院事業会計

12,784,813千円

- ◆ 「江別市立病院経営強化プラン」に基づき、持続可能な地域医療提供体制を確保するため、市立病院の経営強化を着実に進めます。
- ◆ DPC対象病院として急性期医療の充実、制度に対応した収益性の高いマネジメントを実施します。
- ◆ 高度医療機器の活用やチーム医療の充実による外来機能の高度化、専門化を図ります。
- ◆ 他の医療機関とのネットワーク強化を進め、市民にとって最適な医療を提供できるよう、体制整備に取り組みます。
- ◆ 医育大学との共同研究を進め、「高度先進地域医療」の実現を目指します。



江別市水道庁舎



江別市立病院